

マネーロンダリング防止 AML ポリシー

トラックフォックス有限会社

1. ポリシーの概要

トラックフォックス有限会社は、誠実性、透明性、およびマネーロンダリング防止 AML ならびにテロ資金供与対策 CTF に関する適用可能な原則に従い、事業を運営することを約束します。

本マネーロンダリング防止ポリシーは、トラックフォックス有限会社のサービス、ウェブサイト、決済システムおよび商業関係が、マネーロンダリング、テロ資金供与、詐欺、またはその他の違法な金融活動に利用されるリスクを軽減するために、当社が適用する手続、管理措置および基準を説明するものです。

トラックフォックス有限会社はブルガリアで登録され、事業を行っており、ブルガリア、ヨーロッパ、アジアおよびその他の国際市場の顧客に対して、自動車関連サービス、オンライン相談、および関連する商業サポートを提供しています。

2. ポリシーの目的

本 AML ポリシーの目的は以下のとおりです。

トラックフォックス有限会社が、マネーロンダリング、テロ資金供与、詐欺、またはその他の金融犯罪の経路として利用されることを防止すること。

顧客、支払いおよびビジネス関係に関連する金融犯罪リスクを特定し、管理するための合理的な手続を定めること。

自動車販売、自動車相談、車両購入支援、車両選定およびその他の関連サービスに関して、透明で倫理的な商慣行を促進すること。

トラックフォックス有限会社が受け取る支払いが、実際の商業活動および明確に識別可能なサービスに関連していることを確保すること。

適用されるブルガリア、欧州連合、および国際的に認められたマネーロンダリング防止基準の遵守を支援すること。

3. ポリシーの適用範囲

本ポリシーは以下に適用されます。

トラックフォックス有限会社を代表して行動するすべての管理者、従業員、代表者、請負業者および権限を与えられた者。

ウェブサイトを通じてサービスを購入する、または当社とビジネス関係を結ぶすべての顧客。

すべてのオンライン相談、自動車関連サービス、購入者支援、車両選定サービスおよび関連取引。

銀行振込およびウェブサイトを通じたカード決済を含む、トラックフォックス有限会社が受け取るすべての支払い。

ブルガリア、ヨーロッパ、アジアまたはその他の法域に所在する顧客、サービス提供者、パートナー、仲介者または取引先とのすべてのビジネス関係。

4. 本ポリシーの対象となる事業活動

トラックフォックス有限会社は、自動車分野におけるサービスを提供しており、これには以下が含まれますが、これらに限定されません。

自動車購入に関するオンライン相談。

車両選定および購入者支援。

高級車またはプレミアム車両を探している顧客への相談。

自動車の所有、維持管理および購入後のサポートに関する相談。

一般的な自動車関連のコンサルティングサービス。

ウェブサイトを通じて購入されるオンラインサービスパッケージ。

該当する場合、トラックフォックス有限会社は、車両の検索、書類手続、および第三者パートナーまたは販売者との連絡に関連する支援も提供することがあります。当社は、匿名または不明確な取引を支持せず、すべての商業活動に正当な事業目的があることを求めます。

5. 法令遵守

トラックフォックス有限会社はブルガリアから事業を行っており、適用されるブルガリア法、欧州連合のマネーロンダリング防止原則、およびマネーロンダリングならびにテロ資金供与の防止に関する国際的に認められた基準を遵守するよう努めます。

当社は、内部手続が法的要件、規制上の期待および事業の性質に適合するよう、合理的な措置を講じます。

取引、顧客プロフィール、支払方法または法域がより高いリスクを示す場合、トラックフォックス有限会社は、ビジネス関係の受諾、処理または継続の前に、追加の確認を行うことがあります。

6. リスクベース・アプローチ

トラックフォックス有限会社は、AML コンプライアンスに対してリスクベース・アプローチを採用しています。これは、確認および検証の程度が、顧客の種類、取引金額、支払方法、取引に関連する国、および依頼されたサービスの性質によって異なる場合があることを意味します。

当社は、以下に関連するリスクを評価することがあります。

顧客の身元およびプロフィール。

顧客の所在地または居住国。

顧客が法人である場合の事業構造または所有構造。

支払いの金額、頻度および資金源。

銀行振込またはカード決済の利用。

高額車両または高級車に関連する依頼。

通常と異なる取引パターン。

高リスク法域の顧客または取引先。

顧客のプロフィールまたは申告された目的と一致しないように見える依頼。

不明確な最終受益者、第三者または仲介者を含む取引。

より高いリスクがある場合、追加書類、手動審査、またはサービス提供の拒否が求められることがあります。

7. 顧客の識別および確認

特定のサービスを提供する前、または高額取引を受け入れる前に、トラックフォックス有限会社は、顧客を識別および確認するための情報を求めることがあります。

個人顧客の場合、これには以下が含まれることがあります。

氏名。

連絡先情報。

請求先住所。

居住国。

必要な場合の本人確認書類。

依頼されたサービスの目的に関する情報。

顧客が自己の名義で行動していることの確認。

法人顧客の場合、これには以下が含まれることがあります。

会社名。

会社登録番号。

登録住所。

会社のウェブサイトまたは事業プロフィール。

取締役、代表者または権限を与えられた者の情報。

該当する場合の実質的所有者に関する情報。

会社登録書類または公式な会社記録。

顧客が十分な情報を提供しない場合、または提供された情報が虚偽、不完全、矛盾している、もしくは確認不能であるように見える場合、トラックフォックス有限会社はサービスの提供を拒否することがあります。

8. 支払方法および支払いの確認

トラックフォックス有限会社は、以下の方法による支払いを受け付けます。

銀行振込。

ウェブサイトを通じたカード決済。

すべての支払いは、正当な資金源から行われ、購入されたまたは当社と合意されたサービスに対応していなければなりません。

トラックフォックス有限会社は、犯罪行為、詐欺、テロ資金供与、制裁回避、または不明確な第三者との取り決めに関連しているように見える支払いを、故意に受け入れることはありません。

当社は、以下の場合に支払いを確認することがあります。

金額が依頼されたサービスに対して通常より高い場合。

明確な商業上の理由なく、短期間に複数の支払いが行われる場合。

カード名義人または銀行口座名義人が顧客と一致しない場合。

顧客が別の人物または口座からの支払い、または別の人物または口座への返金を求める場合。

支払いが高リスク法域から発生している場合。

支払理由が不明確または矛盾している場合。

顧客が求められた説明の提供を拒否する場合。

必要な場合、トラックフォックス有限会社は、内部審査および適用される法的要件に従い、支払いを遅延、拒否または返金することがあります。

9. オンライン相談サービス

顧客は、トラックフォックス有限会社のウェブサイトを通じて、自動車関連の相談サービスを完全にオンラインで購入することができます。

これらのサービスには、自動車購入に関する助言、車両選定支援、市場情報、自動車所有に関する相談、またはその他の自動車関連コンサルティングサービスが含まれることがあります。

オンライン相談が遠隔で完了できる場合であっても、顧客プロフィール、支払行動、所在地または依頼されたサービスが AML、詐欺またはコンプライアンス上の懸念を生じさせる場合、トラックフォックス有限会社は追加情報を求める権利を留保します。

当社は、オンラインサービスが以下の目的で利用されることを認めません。

顧客または実質的所有者の身元を隠すこと。

人工的な請求書または誤解を招く支払理由を作成すること。

実際のサービスに関連しない支払いを処理すること。

正当な商業目的なく資金を移動すること。

取引の性質を偽って表示すること。

10. ビジネス関係のモニタリング

トラックフォックス有限会社は、活動がサービスの期待される目的と一致していることを確認するため、顧客関係および取引を継続的にモニタリングすることがあります。

モニタリングには、以下の確認が含まれることがあります。

支払い履歴。

顧客とのコミュニケーション。

サービス依頼。

請求情報。

取引金額。

地理的リスク。

返金依頼。

反復的または通常と異なる取引。

活動が疑わしい、矛盾している、または説明不能であるように見える場合、トラックフォックス有限会社は顧客に追加の説明または書類を求めることがあります。

11. 強化された顧客確認

より高いリスクがある状況では、強化された顧客確認が適用されることがあります。

これには、以下のような場合が含まれることがあります。

高額取引。

高級車に関連する依頼。

複雑な所有構造を有する法人顧客。

高リスク国に所在する、または関連する顧客。

第三者によって行われる支払い。

顧客名と支払情報の不一致。

通常と異なる返金依頼。

特定された場合の政治的に重要な公的地位を有する者。

通常の商業活動と一致しないように見えるあらゆる状況。

強化された顧客確認には、追加の本人確認、住所証明、会社書類、資金源に関する情報、または取引目的の説明を求めることが含まれる場合があります。

12. 疑わしい活動の認識

トラックフォックス有限会社は、当社を代表して行動するすべての者に対し、潜在的に疑わしい活動に注意を払うことを求めます。

疑わしい活動の例には、以下が含まれることがあります。

顧客が本人確認情報または支払情報の提供を拒否すること。

顧客が矛盾する氏名、住所または連絡先を使用すること。

顧客が虚偽または誤解を招く請求書の発行を求めること。

顧客が明確な理由なく支払いを分割しようとする事。

顧客が別のカード、口座または第三者への返金を求めること。

顧客が支払活動について通常と異なる説明を行うこと。

顧客が実際の購入者または最終受益者を隠そうとすること。

取引に明確な商業目的がないこと。

単純なサービスに対して過度に複雑な取り決めを含む依頼。

疑わしい活動が確認された場合、トラックフォックス有限会社は、内部措置を講じ、取引を拒否し、ビジネス関係を終了し、必要な場合には管轄当局に協力することがあります。

13. 記録の保存

トラックフォックス有限会社は、AML およびコンプライアンス手続に関連する適切な記録を保持します。

これらの記録には、以下が含まれることがあります。

顧客識別情報。

会社登録書類。

支払記録。

請求書およびサービス確認書。

顧客とのコミュニケーション。

コンプライアンス確認。

内部審査メモ。

取引情報。

記録は安全に保管され、法的、規制上、税務上、会計上および業務上の要件に従い、合理的な期間保存されます。

14. 守秘義務およびデータ保護

AML、詐欺防止、支払確認およびコンプライアンスの目的で収集された情報は、機密として取り扱われます。

トラックフォックス有限会社は、かかる情報を、正当な事業、コンプライアンス、法務、会計およびリスク管理の目的にのみ使用します。

かかる情報へのアクセスは、権限を与えられた者のみに制限されます。

個人データは、ブルガリアおよび欧州連合の関連するデータ保護規則を含む、適用されるデータ保護要件に従って処理されます。

15. 従業員の意識およびコンプライアンス文化

トラックフォックス有限会社は、コンプライアンス、透明性および責任ある事業行動の文化を促進します。

管理者、従業員、請負業者および代表者は、AML 原則の重要性を理解し、顧客、支払いおよび通常と異なる活動に対応する際に内部手続に従うことが期待されます。

当社は、従業員が AML および詐欺リスクを特定し対応できるよう、必要に応じて内部ガイダンスまたは研修を提供することがあります。

16. 内部監督

トラックフォックス有限会社の経営陣は、AML 手続の監督および当社のビジネスモデルに適した管理措置の維持について責任を負います。

これには以下が含まれます。

より高リスクな取引の確認。

通常と異なる顧客関係の承認または拒否。

記録が適切に保管されていることの確保。

リスクの変化に応じた内部手続の更新。

支払活動が実際のサービスに関連していることの確保。

必要な場合の顧客または取引上の懸念の確認。

当社は、法律、事業運営、支払方法またはリスクエクスポージャーの変更を反映するため、本ポリシーを定期的に更新することがあります。

17. 国際顧客

トラックフォックス有限会社は、ブルガリア、ヨーロッパ、アジアおよびその他の国際市場の顧客にサービスを提供します。

国際取引には異なる法制度、銀行慣行およびコンプライアンスリスクが伴う場合があるため、トラックフォックス有限会社は、特定の法域の顧客または支払いに対して追加確認を適用することがあります。

当社は、顧客、支払元、取引目的または依頼されたサービスの正当性を合理的に確認できない場合、サービスを拒否する権利を留保します。

18. 返金およびチャージバック

返金が適用される場合、通常は顧客が使用した元の支払方法に対してのみ行われます。

トラックフォックス有限会社は、以下を含む返金指示を拒否することがあります。

別の人物への返金。

別の銀行口座またはカードへの返金。

第三者の口座への返金。

複数の口座への返金の分割。

資金の出所または行き先を隠す目的で作られたように見えるあらゆる取り決め。

支払紛争、チャージバックまたは詐欺の疑いが発生した場合、トラックフォックス有限会社は取引を確認し、コンプライアンスおよび法的目的のために関連記録を保存することがあります。

19. ゼロ・トレランス方針

トラックフォックス有限会社は、マネーロンダリング、テロ資金供与、詐欺、制裁回避、虚偽書類およびその他の違法な金融活動に対して、ゼロ・トレランス方針を維持します。

当社は、以下の場合にサービスを拒否、一時停止または終了する権利を留保します。

顧客を適切に識別できない場合。

取引目的が不明確な場合。

支払いが疑わしく見える場合。

顧客が虚偽または誤解を招く情報を提供する場合。

取引が実際のサービスと無関係に見える場合。

顧客が合理的なコンプライアンス確認を拒否する場合。

ビジネス関係が受け入れがたい法的、評判上または財務上のリスクを生じさせる場合。

20. 業務上の透明性に関する条項

トラックフォックス有限会社は、所有関係を隠すこと、資金源を隠すこと、商業活動を偽って表示すること、または正当な経済目的のない人工的な取引を作り出すことを目的とした事業上の取り決めに関与せず、これを支持しません。

顧客、支払元、実質的所有者または事業目的に関する透明性を合理的に確認できない場合、当社はサービスを拒否し、協力を停止し、注文をキャンセルし、または顧客関係を終了することがあります。

21. ウェブサイトの利用および顧客の責任

トラックフォックス有限会社のウェブサイトを利用し、サービスを購入し、または支払いを行うことにより、顧客は以下を確認します。

合法的かつ誠実に行動していること。

提供する情報が正確かつ完全であること。

支払いが正当な資金源から行われていること。

トラックフォックス有限会社のサービスを違法な金融活動に利用していないこと。

コンプライアンス目的で合理的に求められた場合、追加情報を提供すること。

コンプライアンス上の懸念が生じた場合、トラックフォックス有限会社がサービスを拒否または停止することがあることを理解していること。

22. ポリシーの更新

トラックフォックス有限会社は、法的要件、事業運営、支払方法、リスクエクスポージャーまたは内部手続の変更を反映するため、本 AML ポリシーを随時更新することがあります。

本ポリシーの最新版は、当社のウェブサイト上で利用可能となります。

23. お問い合わせ

本 AML ポリシーに関するご質問については、顧客は当社ウェブサイトに記載された公式連絡先を通じて、トラックフォックス有限会社に連絡することができます。

本マネーロンダリング防止ポリシーは、トラックフォックス有限会社のコンプライアンスおよび透明性の枠組みの一部を構成し、当社に関連するすべての顧客、サービス、支払いおよびビジネス関係に適用されます。